

# 認定書

国住指第 4740 号  
平成 30 年 4 月 26 日

ケイミュー株式会社  
代表取締役 社長 木村 均 様  
吉野石膏株式会社  
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PC030BE-3590-1(2)
2. 認定をした構造方法等の名称  
人造鉱物繊維断熱材充てん／イソシアヌレートフォーム裏張めっき鋼板・フェノールフォーム保温板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん/イソシアヌレートフォーム裏張めっき鋼板・フェノールフォーム保温板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

## 2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
壁 高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁 厚	187.5以上

## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

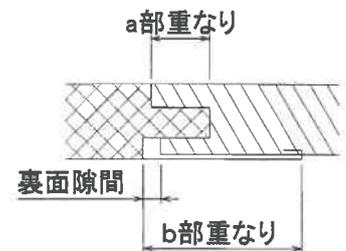
項目	仕様
① 荷重支持部材	柱 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) 平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JAS</li> </ul> </li> <li>(2) 平成13年建設省告示第1024号に規定する構造用集成材               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JAS</li> </ul> </li> <li>(3) 平成13年建設省告示第1024号に規定する単板積層材               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JAS</li> </ul> </li> <li>(4) 平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材</li> <li>・断面寸法 105×105の断面寸法以上</li> <li>・密度 <math>0.38_{\pm 0.08}</math>g/cm<sup>3</sup>以上</li> </ul>
② 間柱	木 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) 製材</li> <li>(2) 集成材</li> <li>(3) 単板積層材</li> <li>・断面寸法 27×105の断面寸法以上</li> <li>・間隔 500以下</li> </ul>
③ 胴縁	木 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) 製材</li> <li>(2) 集成材</li> <li>(3) 単板積層材</li> <li>・断面寸法 一般部 15×40の断面寸法以上 目地部 15×40の断面寸法以上を2列または15×80の断面寸法以上</li> <li>・間隔 500以下</li> </ul>
④ 受け材	(1)、(2)のうちいずれか一仕様とする (1) なし (2) 木 <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類 1)～3)のうちいずれか一仕様とする</li> <li>1) 製材</li> <li>2) 集成材</li> <li>3) 単板積層材</li> <li>・断面寸法 25×25の断面寸法以上</li> <li>・取付位置 構造用面材または内装材横目地位置</li> </ul>

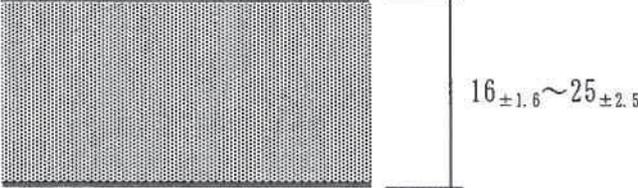
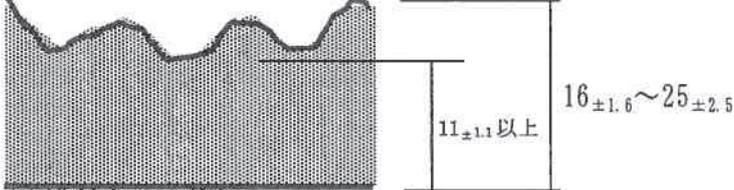
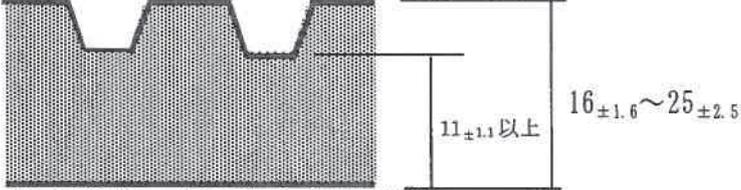
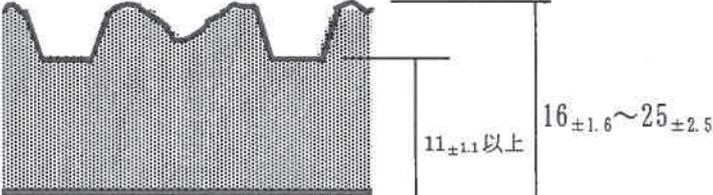
項目	仕様
5 外装材	イソシアヌレートフォーム裏張/めっき鋼板 [1] 構成 [1]-1 表面材 ・材質 (1)～(18)のうち、いずれか一仕様とする (1) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8697) (2) 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302 (3) 塗装熔融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3312 (4) 熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3317 (5) 塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3318 (6) 熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321 (7) 塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3322 (8) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (金属板のアルミニウムまたはアルミニウム合金板は除く) ・規格 JIS K 6744、 (9) 一般構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3101 (10) 冷間圧延鋼板 ・規格 JIS G 3141 (11) 熱間圧延軟鋼板 ・規格 JIS G 3131 (12) 電気亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3313 (13) 建築構造用熔融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣指定建築材質：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) (14) 熔融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3323 (15) ポリエステル被膜熔融亜鉛めっき鋼板 ・材質 1)～11)のうち、いずれか一仕様とする 1) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-8697) 2) 熔融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302 3) 熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3317 4) 熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板 ・規格 JIS K 6744 (金属板のアルミニウムまたはアルミニウム合金板は除く) 6) 一般構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3101 7) 冷間圧延鋼板 ・規格 JIS G 3141 8) 熱間圧延軟鋼板 ・規格 JIS G 3131

項目	仕様												
5 外装材 (つづき)	9) 電気亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3313 10) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣指定建築材質：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) 11) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3323 (16) 冷間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4305 (17) 熱間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4304 (18) 塗装ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 3320 ・(16)～(18)の鋼種：SUS430、SUS445J1、SUS445J2、SUS447J1 ・厚さ 0.27以上 [1]-2芯材 ・材質 イソシアヌレートフォーム ・組成(質量%) { <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ポリアリソシアネート</td> <td style="text-align: right;">66<sub>±7</sub></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル系ポリオール</td> <td style="text-align: right;">3<sub>±3</sub></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル系ポリオール</td> <td style="text-align: right;">23<sub>±4</sub></td> </tr> <tr> <td>難燃材(リン系)</td> <td style="text-align: right;">5<sub>±2</sub></td> </tr> <tr> <td>三量化触媒、整泡剤</td> <td style="text-align: right;">3<sub>±3</sub></td> </tr> <tr> <td>発泡剤(HFC、HFO等)</td> <td style="text-align: right;">5<sub>±3</sub>～11<sub>±3</sub> (外割)</td> </tr> </table> ・イソシアネート指数 279 ・密度 37.5 <sub>±4</sub> kg/m <sup>3</sup> [1]-3裏面材 ・材質 (1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする (1) アルミニウム合金はく ・規格 JIS H 4160 (2) はり合わせアルミニウムはく ・規格 JIS Z 1520 (3) ラミネート加工紙 (4) アルミラミネート加工紙 (5) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3322 (6) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321 (7) 塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3312 (8) 溶融亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302 (9) 塗装溶融-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3323 ・厚さ (1) 0.02 <sub>±0.002</sub> 以上 (2)～(4) 0.2 <sub>±0.1</sub> (5)～(9) 0.15以上	ポリアリソシアネート	66 <sub>±7</sub>	ポリエステル系ポリオール	3 <sub>±3</sub>	ポリエステル系ポリオール	23 <sub>±4</sub>	難燃材(リン系)	5 <sub>±2</sub>	三量化触媒、整泡剤	3 <sub>±3</sub>	発泡剤(HFC、HFO等)	5 <sub>±3</sub> ～11 <sub>±3</sub> (外割)
ポリアリソシアネート	66 <sub>±7</sub>												
ポリエステル系ポリオール	3 <sub>±3</sub>												
ポリエステル系ポリオール	23 <sub>±4</sub>												
難燃材(リン系)	5 <sub>±2</sub>												
三量化触媒、整泡剤	3 <sub>±3</sub>												
発泡剤(HFC、HFO等)	5 <sub>±3</sub> ～11 <sub>±3</sub> (外割)												

(寸法単位：mm)

項目	仕様
[5] 外装材 (つづき)	[1]-4水密材 (1)、(2)のうちいずれか一仕様とする (1) なし (2) あり ・材質 1)~7)のうち、いずれか一仕様とする 1) 合成ゴム系 2) 軟質塩化ビニル系 3) ポリウレタン系 4) アクリルウレタン系 5) ポリサルファイド系 6) 変成シリコーン系 7) ポリエチレン系 ・使用量 4.6g/m以下(有機質量) [2] 表裏面塗装 (1)、(2)のうちいずれか一仕様とする (1) なし (2) あり ・種類 1)~9)のうち、いずれか一仕様とする 1) フッ素系樹脂 2) アクリル系樹脂 3) アクリルウレタン系樹脂 4) ウレタン系樹脂 5) アクリルシリコン系樹脂 6) 無機質系 7) エポキシ系樹脂 8) ポリエステル系樹脂 9) 上記1)~8)の組合せ ・塗布量 77g/m <sup>2</sup> 以下(表裏面合計有機質量) [3] 形状 [3]-1断面形状 ・厚さ $16_{\pm 1.6} \sim 25_{\pm 2.5}$ (最低厚さ $11_{\pm 1.1}$ 以上) ・働き幅 $400_{\pm 40}$ ・長さ 10~10000 ・断面欠損率 $11.8_{\pm 1.18}\%$ 以下 ※ ※裏面から16以下の部分の溝深さによる欠損率とする ・裏面隙間 $4.6_{\pm 0.46}$ 以下 ・a部重なり $10.4_{\pm 1.04}$ 以上 ・b部重なり $29.5_{\pm 2.95}$ 以上



項目	仕様
[5] 外装材 (つづき)	<p>[3]-2表面形状</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 平滑            (2) エンボス            (3) 溝付き            (4) 上記(1)～(3)の組合せ</p> <p>(1) 平滑の形状例</p>  <p>(2) エンボスの形状例</p>  <p>(3) 溝付きの形状例</p>  <p>(4) 上記(1)～(3)の組合せの形状例</p>  <p>[4] 張り方 縦張</p>

項目	仕様
6 構造用面材	<p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 木質系ボード</p> <p>1)～6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 普通合板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JAS</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>2) 構造用合板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JAS</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>3) 構造用パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JAS</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>4) パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5908</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>5) ミディアムデンシティファイバーボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5905</li> <li>・厚さ 9以上</li> <li>・密度 0.7g/cm<sup>3</sup>以上</li> </ul> <p>6) シーリングボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5905</li> <li>・厚さ 12以上</li> <li>・密度 0.33～0.42g/cm<sup>3</sup></li> </ul> <p>(2) セメント板</p> <p>1)～7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 硬質木片セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5404</li> <li>・厚さ 12以上</li> </ul> <p>2) 硬質木毛セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5404</li> <li>・厚さ 12以上</li> </ul> <p>3) フレキシブル板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5430</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>4) パルプセメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5414</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>5) けい酸カルシウム板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5430</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>6) 両面アクリル系樹脂塗装/パルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定：QM-0457)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>7) スラグせっこう板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5430</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul> <p>(3) 火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5440</li> <li>・厚さ 9以上</li> </ul>

項目	仕様
<b>6</b> 構造用面材 (つづき)	(4) せっこうボード 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 2) 強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 3) 両面ボード用原紙張/せっこう板 (国土交通大臣認定：NM-4127) ・厚さ 9.5以上
<b>7</b> 外張断熱材	フェノールフォーム保温板 ・規格 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) JIS A 9511 2) JIS A 9521 ・厚さ $30_{\pm 3.0} \sim 100_{\pm 10.0}$ ・密度 $27_{\pm 2.7} \sim 50_{\pm 5.0} \text{kg/m}^3$
<b>8</b> 充てん断熱材	人造鉱物繊維断熱材 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1) グラスウール断熱材 ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 50以上 ・密度 $10 \text{kg/m}^3$ 以上 2) グラスウール保温材 ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 50以上 ・密度 $10 \text{kg/m}^3$ 以上 3) ロックウール断熱材 ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 50以上 ・密度 $10 \text{kg/m}^3$ 以上 4) ロックウール保温材 ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 50以上 ・密度 $10 \text{kg/m}^3$ 以上
<b>9</b> 内装材	せっこうボード ・材質 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 (2) 強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 ・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) スクエア 2) ベベル 3) テーパ

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①防湿紙	(1)～(13)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)アスファルトフェルト ・規格 JIS A 6005 (3)透湿防水シート ・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリエチレン系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 (4)プラスチックシート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂 (5)防水通気シート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂 (6)オレフィン系シート (7)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格 JIS A 6930 (8)包装用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS Z 1702 (9)農業用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS K 6781 (10)上記(1)～(9)に高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース)を組み合わせたもの (11)上記(1)～(10)の組み合わせ (12)上記(1)～(11)にアルミ蒸着したもの (13)上記(1)～(11)にアルミ箔を貼り合わせたもの ・単位面積質量 860g/m <sup>2</sup> 以下
②防水紙	①防湿紙の(1)～(13)うち、いずれか一仕様とする ・単位面積質量 860g/m <sup>2</sup> 以下

項目	仕様
③シーリング材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーキング材 ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック ・使用量 1g/m以上
④バックアップ材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり ・材質 1)～8)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)軟質塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成シリコーン系 8)ポリエチレン系 ・使用量 0.3～100g/m

項目	仕様
⑤役物	<p>[1] 中間水切り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3322</li> </ul> </li> <li>2) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材：NM-8697)</li> <li>3) 塗装熔融亜鉛めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3312</li> </ul> </li> <li>4) 塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3318</li> </ul> </li> <li>5) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (アルミニウム金属板およびアルミニウム合金板は除く)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS K 6744</li> </ul> </li> <li>6) ポリエチレン被覆熔融亜鉛めっき鋼板</li> </ol> </li> <li>・厚さ 0.35以上</li> <li>・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) なし</li> <li>2) フッ素系樹脂</li> <li>3) アクリル系樹脂</li> <li>4) アクリルウレタン系樹脂</li> <li>5) ウレタン系樹脂</li> <li>6) アクリルシリコン系樹脂</li> <li>7) 無機質系</li> <li>8) エポキシ系樹脂</li> <li>9) ポリエステル系樹脂</li> <li>10) 上記2)～9)の組合せ</li> </ol> </li> <li>・塗布量 77g/m<sup>2</sup>以下 (表裏面合計有機質量)</li> </ul> <p>[2] 端面カバー</p> <p>(1)、(2)のいずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3322</li> </ul> </li> <li>2) 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材：NM-8697)</li> <li>3) 塗装熔融亜鉛めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3312</li> </ul> </li> <li>4) 塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS G 3318</li> </ul> </li> <li>5) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (アルミニウム金属板およびアルミニウム合金板は除く)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS K 6744</li> </ul> </li> <li>6) ポリエチレン被覆熔融亜鉛めっき鋼板</li> <li>7) アルミニウム合金押出形材               <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS H 4100</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>・厚さ 1)～6) 0.35以上</li> <li>7) 1以上</li> <li>・水抜き孔 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) なし</li> <li>2) あり</li> </ol> </li> </ul>

項目	仕様
⑤役物 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) なし</li> <li>2) フッ素系樹脂</li> <li>3) アクリル系樹脂</li> <li>4) アクリルウレタン系樹脂</li> <li>5) ウレタン系樹脂</li> <li>6) アクリルシリコン系樹脂</li> <li>7) 無機質系</li> <li>8) エポキシ系樹脂</li> <li>9) ポリエステル系樹脂</li> <li>10) 上記2)～9)の組合せ</li> </ul> </li> <li>・塗布量 77g/m<sup>2</sup>以下(表裏面合計有機質量)</li> </ul>
⑥留付け材	<ul style="list-style-type: none"> <li>[1] 外装材固定用           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) くぎ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> </ul> </li> <li>・寸法 φ2.1以上×L25以上</li> <li>・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向)</li> </ul> </li> <li>(2) ねじ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> </ul> </li> <li>・寸法 φ2.1以上×L25以上</li> <li>・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>[2] 胴縁固定用           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) くぎ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> </ul> </li> <li>・寸法 φ3.4以上×L75以上</li> <li>・間隔 500以下</li> </ul> </li> <li>(2) ねじ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> </ul> </li> <li>・寸法 φ3.4以上×L75以上</li> <li>・間隔 500以下</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>[3] 構造用面材固定用           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>(1) くぎ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> </ul> </li> <li>・寸法 φ2.1以上×L38以上</li> <li>・間隔 500以下</li> </ul> </li> <li>(2) ねじ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> </ul> </li> <li>・寸法 φ2.1以上×L38以上</li> <li>・間隔 500以下</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[4] 役物固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> <li>・寸法 <math>\phi 2.1</math>以上×L25以上</li> <li>・間隔 3000以下</li> </ul> <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> <li>・寸法 <math>\phi 2.1</math>以上×L25以上</li> <li>・間隔 3000以下</li> </ul> <p>[5] 内装材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> <li>・寸法 <math>\phi 2.1</math>以上×L25以上</li> <li>・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部)</li> </ul> <p>(2) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> <li>・寸法 <math>\phi 2.1</math>以上×L25以上</li> <li>・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部)</li> </ul> <p>[6] 防湿紙留付け用</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 幅10以上×長さ6以上</li> <li>・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向)</li> </ul> <p>(2) ブチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ0.5以下、幅50以下</li> <li>・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向)</li> </ul> <p>(3) アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ0.5以下、幅50以下</li> <li>・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向)</li> </ul> <p>[7] 防水紙留付け用</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 幅10以上×長さ6以上</li> <li>・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向)</li> </ul> <p>(2) ブチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下</li> <li>・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向)</li> </ul> <p>(3) アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下</li> <li>・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向)</li> </ul>

(寸法単位：mm)

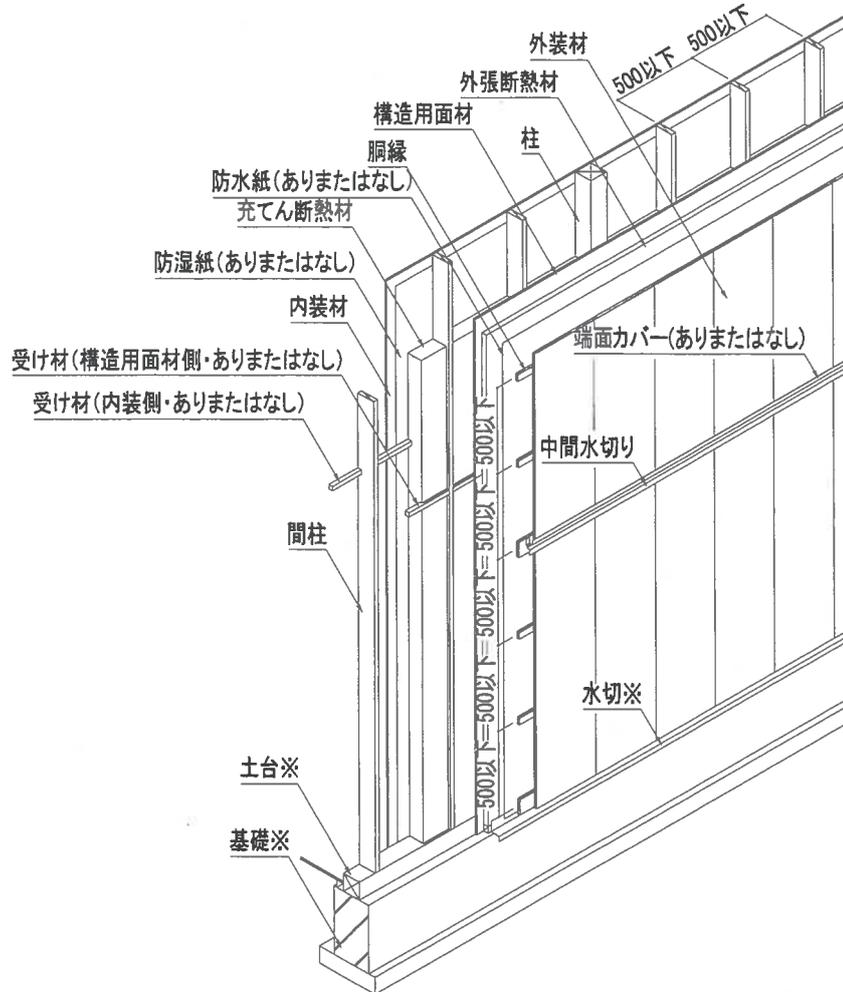
項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[8] 充てん断熱材固定用</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 幅10以上×長さ6以上</li> <li>・間隔 1000以下(両端部)</li> </ul> <p>(2) プチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ0.5以下、幅50以下</li> <li>・取付位置 充てん断熱材両端部</li> </ul> <p>(3) アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ0.5以下、幅50以下</li> <li>・取付位置 充てん断熱材両端部</li> </ul> <p>[9] 外張断熱材仮留め用</p> <p>(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> <li>・寸法 <math>\phi 2.1</math>以上×L38以上</li> </ul> <p>(3) ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ステンレス</li> <li>2) 鉄</li> <li>・寸法 <math>\phi 2.1</math>以上×L38以上</li> </ul> <p>(4) プチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下、長さ200以下</li> <li>・取付位置 外張断熱材の四隅および中央またはいずれかの位置</li> </ul> <p>(5) アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下、長さ200以下</li> <li>・取付位置 外張断熱材の四隅および中央またはいずれかの位置</li> </ul> <p>(6) 接着材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～20)のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) エポキシ系樹脂</li> <li>2) 酢酸ビニル系樹脂</li> <li>3) ゴム系</li> <li>4) アクリル系樹脂</li> <li>5) アクリルウレタン系樹脂</li> <li>6) ポリウレタン系樹脂</li> <li>7) シリコーン系樹脂</li> <li>8) 変成シリコーン系樹脂</li> <li>9) ポリビニルアセタール系</li> <li>10) 塩化ビニル樹脂系</li> <li>11) ポリアミド系</li> <li>12) セルロース系</li> <li>13) オレフィン系</li> <li>14) ユリア樹脂系</li> <li>15) メラミン樹脂系</li> <li>16) フェノール樹脂系</li> <li>17) レゾルシノール樹脂系</li> <li>18) ポリエステル系</li> <li>19) ポリサルファイド系</li> <li>20) 上記1)～19)の組合せ</li> <li>・有機質量 <math>58_{\pm 5.8} \text{g/m}^2</math>以下</li> </ul>

項目	仕様
⑦内装材目地処理材	(1) または (1) と (2) の組合せのいずれか一仕様とする (1) せっこう系パテ ・規格 JIS A 6914 ・塗布量 95g/m以上 (2) ジョイントテープ ・材質 1)～4) のうちいずれか一仕様とする 1) 紙 2) ガラス繊維 3) ポリプロピレン系 4) ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ
⑧気密テープ	(1)～(3) のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) ブチル系粘着テープ ・寸法 厚さ0.75以下、幅100以下 ・取付位置 外張断熱材目地位置 (3) アクリル系粘着テープ ・寸法 厚さ0.75以下、幅100以下 ・取付位置 外張断熱材目地位置

4. 構造説明図

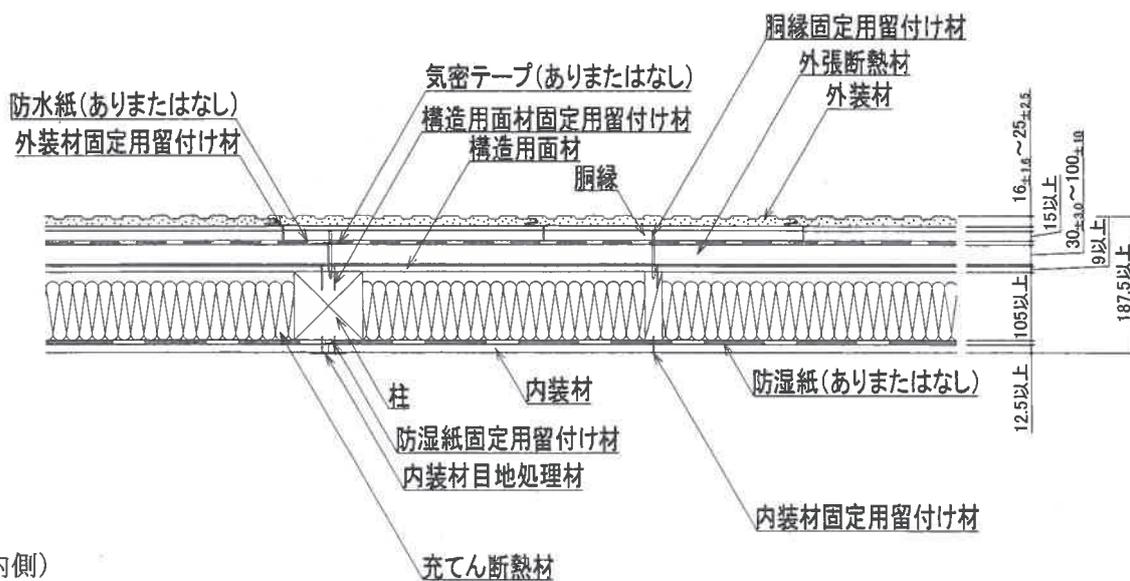
斜視図

(寸法単位：mm)



水平断面図

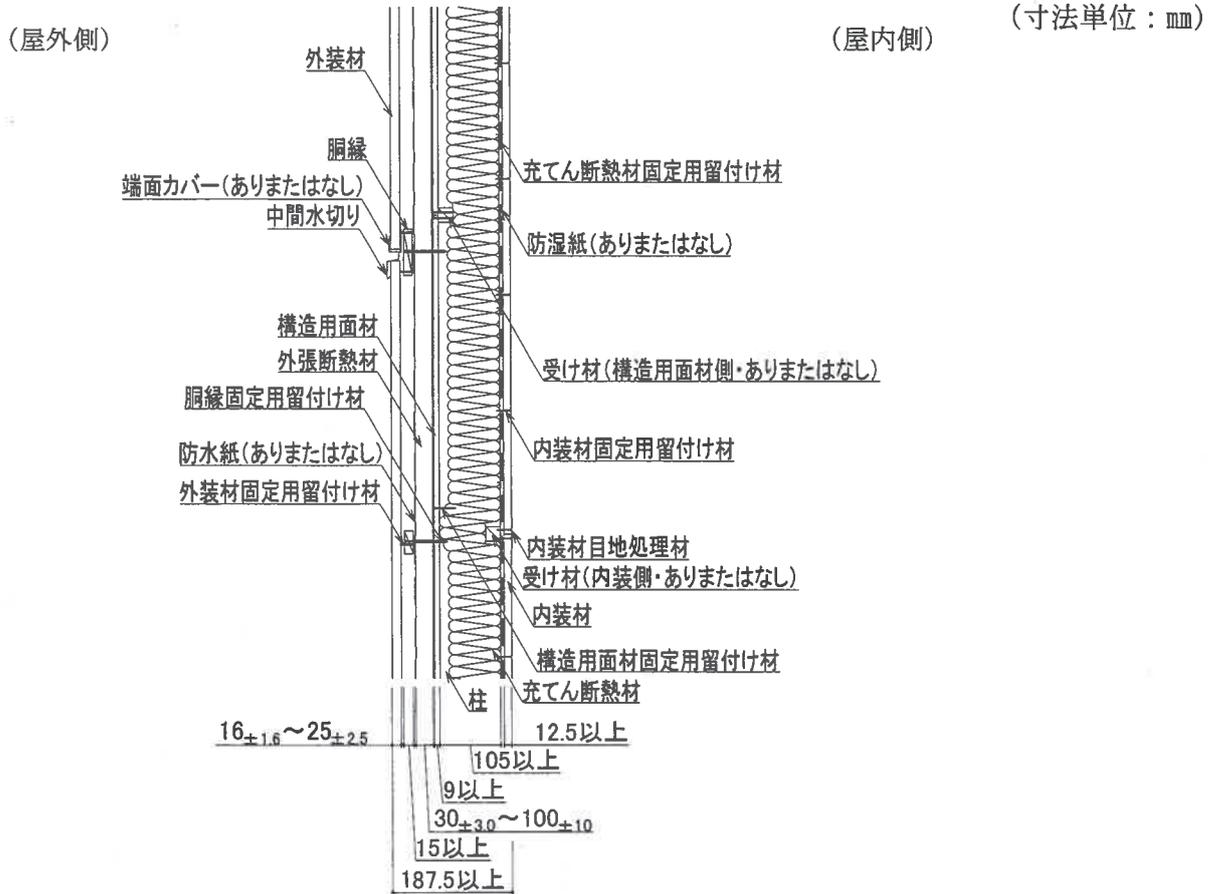
(屋外側)



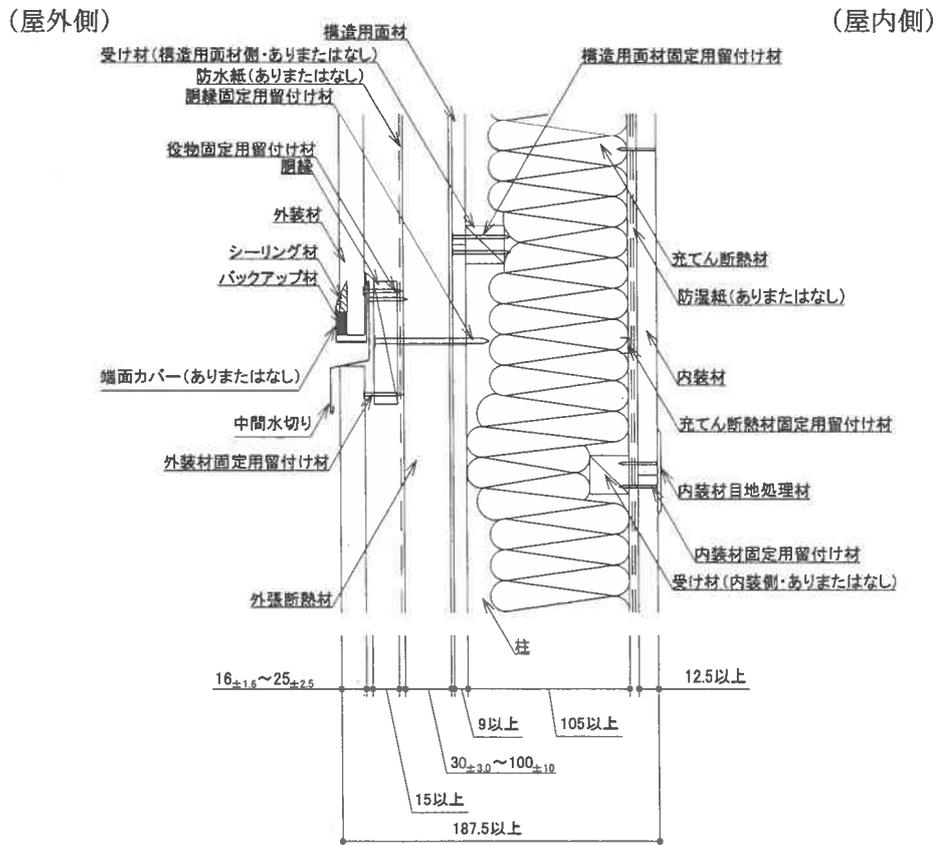
(屋内側)

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり  
※：本評価内容に含まない

鉛直断面図



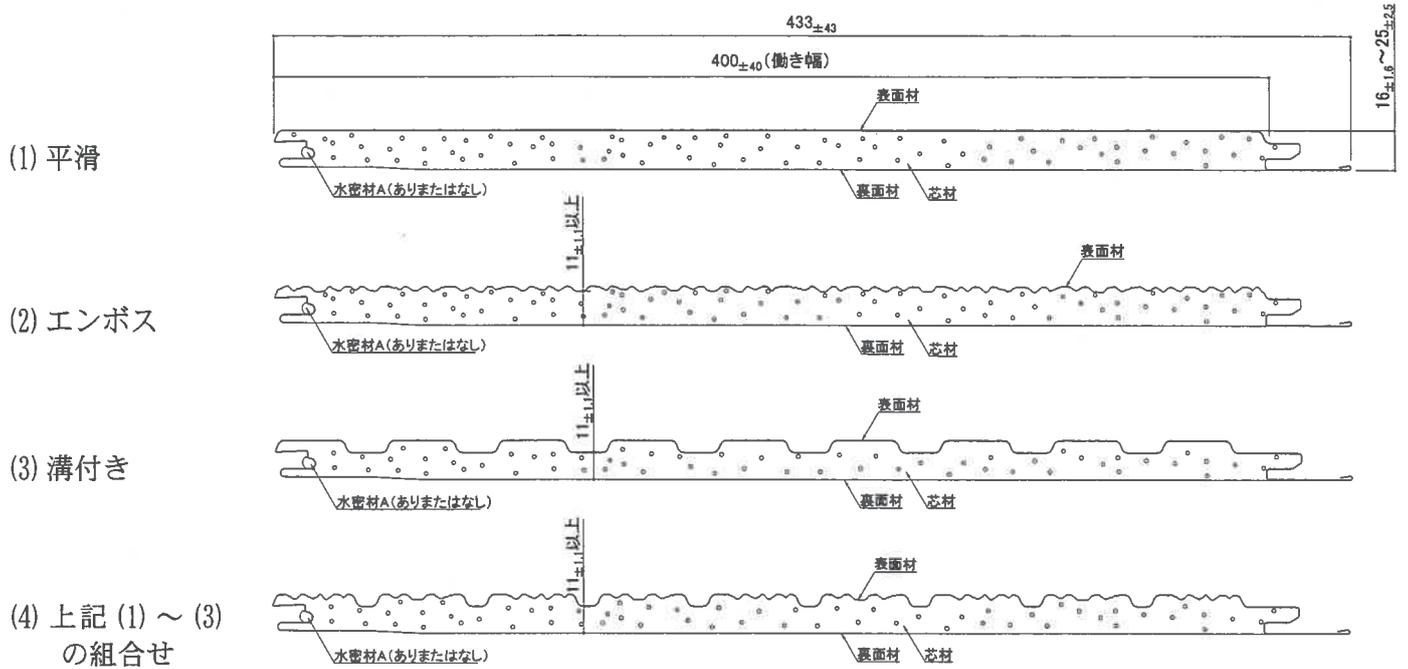
目地部図(横目地部詳細図)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

## 外装材形状(断面)

(寸法単位: mm)

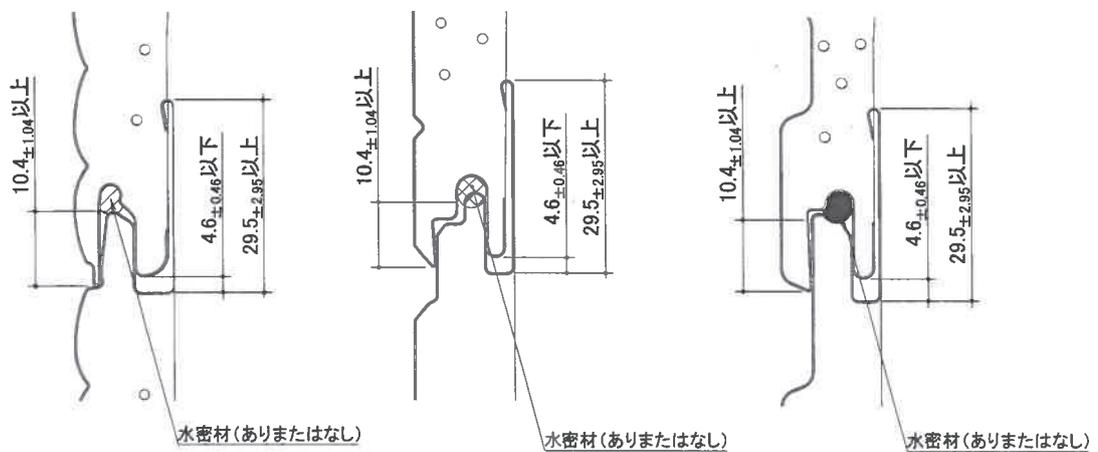


## 外装材形状(接合部)

仕様 1

仕様 2

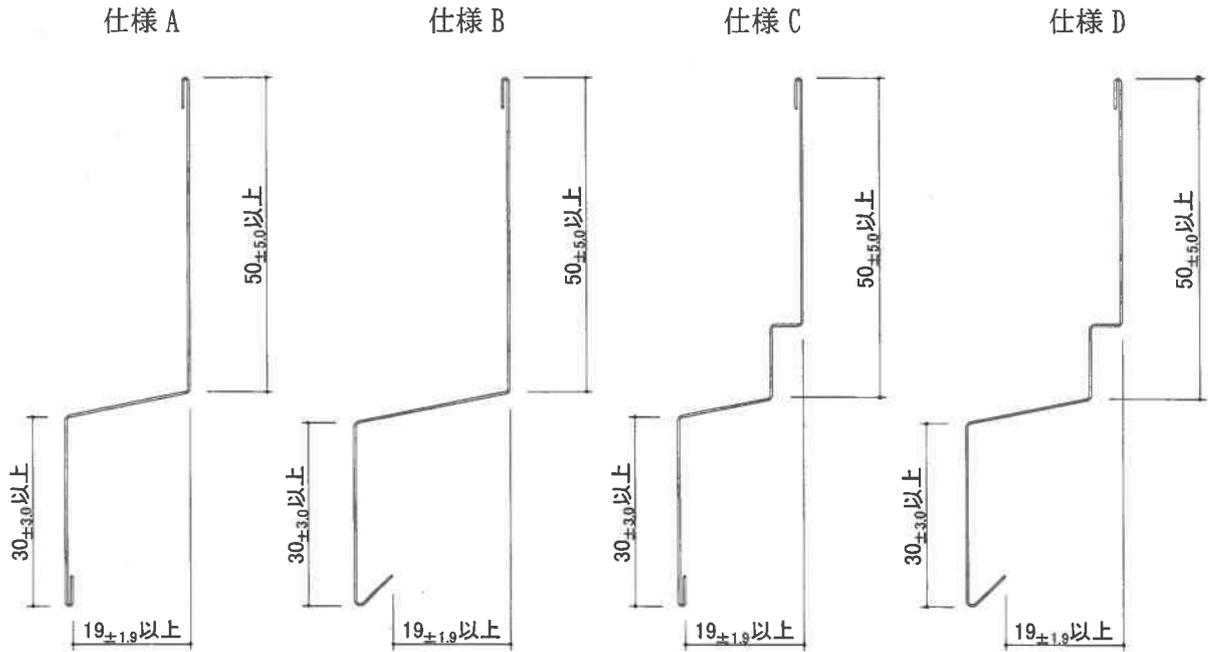
仕様 3



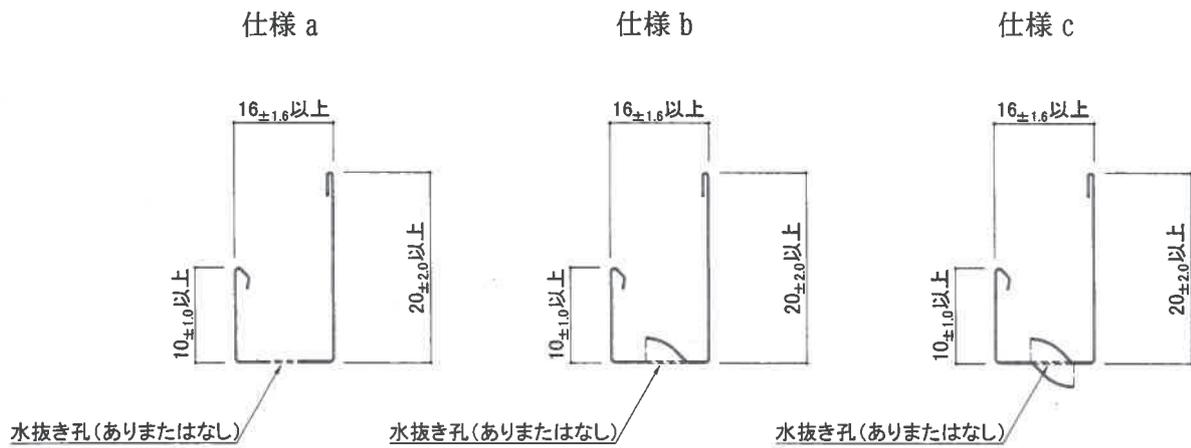
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

役物(中間水切り)の代表例

(寸法単位: mm)



役物(端面カバー)の代表例



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

## 5. 施工方法等

## 〈施工図〉

## 4. 構造説明図と同じ

## 〈施工手順〉

## (1) 下地

荷重支持部材、間柱は反り、曲り等ないものを使用し、荷重支持部材、間柱間隔を500mm以下で施工する。

構造用面材を荷重支持部材、間柱、当て木に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

## (2) 充てん断熱材の取付け

荷重支持部材及び間柱の間に充てん断熱材をステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて取付ける。

## (3) 外張断熱材の取付け

構造用面材の上に外張断熱材を取り付ける。必要に応じてくぎ、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いてもよい。

## (4) 水切、スターター(端面カバー)の取付け(評価対象外)

土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

## (5) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

## (6) 胴縁の取付け

荷重支持部材または間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

## (7) 外装材の取付け

外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

2枚目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、施工していく。

## (8) 役物(中間水切り、端面カバー)の取付け

- ・役物(中間水切り)を使用する場合

横目地部に中間水切りを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

- ・役物(端面カバー)を使用する場合

横目地部に端面カバーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

## (9) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

## (10) 内装材の取付け

内装材はくぎまたはねじを用いて荷重支持部材、間柱に留付ける。

横目地部にはせっこう系パテを塗布する。必要に応じて、ジョイントテープを用いる。

縦目地部には必要に応じてせっこうパテ、ジョイントテープを用いる。